

校長室から
(R元年度)

ひがしなら通心

茨木市立東奈良小学校 川上 隆 No. 27

令和元年8月27日(火)発行

オバマ前米大統領のメッセージより

8月6日・9日は、広島と長崎に原爆が落とされて、たくさんの犠牲者が出た日です。2016年(平成28年)5月、G7伊勢志摩サミットが開催されました。その折、アメリカの大統領だったバラク・オバマ氏が広島を訪れて、メッセージを残しました。「71年前の快晴の朝、空から死が降ってきて、世界は変わってしまった。閃光と火の塊(かたまり)が破壊し、人類が自ら滅ぼす手段を手にしたことを見せつけた」から始まり、「世界はここで一変した。しかし今日、この街の子どもたちは、平和な日々を歩むだろう。それはなんと貴重なことか。それは守るに値することで、全ての子どもたちへ広げていく価値がある。それは我々が選択できる未来だ。広島と長崎は、核戦争の夜明けとしてではなく、我々の道義的な目覚めの始まりとして知らなければならない」と結ばれています。日常の平和は、与えられるものではなく私たちが築いていくものであるということを改めて教えてくれています。

このメッセージの中で「おそらく何より、我々は人類の一員としての互いのつながりを考え直さねばならない。これが、我々の(人間としての)種を他にないものにしている。我々は過去の誤りを繰り返すように遺伝子に組み込まれているわけではない。我々は学ぶことができる。我々は選択することができる。我々は子どもたちに異なる物語を伝えることができる」と人と人とのつながりの重要性や学ぶこと、そして正しい選択をしていくことの大切さが述べられています。

オバマ前大統領のメッセージは、世界を見据えたお話ですが、実現に向けてみなさんは、「自分たちの学校は自分たちで先生方の力を借りながらよりよくしていこう」と取組むことだと思います。この2学期、先ずはよりよい自分、よりよい学級、よりよい学校をみんなが目指していきましょう。

- | | |
|------------------|-----------------|
| ひ とつにみんなでまとまろう! | あ いさつができる子 |
| か くりょくと体力をのばそう! | い っしょうけんめい勉強する子 |
| し っかりせいかつしよう! | う んどうが好きな子 |
| な かよく友だちとすごそう! | え がおでやさしい子 |
| ら んらん夢に向かう東奈良っ子! | お そうじをがんばる子 |

平和への誓い

～令和元年度の全文です!～

被爆50周年(平成7年)の平和記念式典では、広島市長の平和宣言に続いて、初めてこどもの代表が「平和への誓い」を述べました。これは、「こども平和のつどい」で世界のこどもたちが話し合った結果を平和への決意として述べたもので、翌年以降もこの成果を引き継ぐ「こどもピースサミット」を開催し、「平和への誓い」を発信しています。ネットで検索すると過去の誓いが全て出てきます。

「こども平和のつどい」は、未来を担うこどもたちが平和への努力を行うために、平成7年7月末から8/6まで広島市で開催されました。世界12の国・地域の15都市から、194人の小学校5・6年生が参加しました。

私たちは、広島町が大好きです。
ゆったりと流れる川、美しい自然、
「おかえり。」と声をかけてくれる地域の人、
どんなときでも前を向いて生きる人々。
広島には、私たちの大切なものがあふれています。

昭和20年(1945年)8月6日。
あの日から、血で染まった川、がれきの山、皮膚がはがれた人、たくさんの亡骸、
見たくなくても目に飛び込んでくる、地獄のような光景が広がったのです。
大好きな町の「悲惨な過去」です。
被爆者は語ります。「戦争は忘れることのできない特別なもの」だと。

私たちは、大切なものを奪われた被爆者の魂の叫びを受け止め、
次の世代や世界中の人たちに伝え続けたい。
「悲惨な過去」を「悲惨な過去」のままで終わらせないために。
二度と戦争をおこさない未来にするために。

国や文化や歴史、
違いはたくさんあるけれど、大切なもの、大切な人を思う気持ちは同じです。
みんなの「大切」を守りたい。

「ありがとう。」や「ごめんね。」の言葉で認め合い許し合うこと、
寄り添い、助け合うこと、
相手を知り、違いを理解しようと努力すること。
自分の周りを平和にすることは、私たち子どもにもできることです。

大好きな広島に学ぶ私たちは、
互いに思いを伝え合い、相手の立場に立って考えます。
意志をもって学び続けます。
被爆者の思いに、私たちの思いを重ねて、平和への思いを世界につなげます。

令和元年(2019年)8月6日
こども代表

広島市立落合小学校 6年 金田 秋佳
広島市立矢野小学校 6年 石橋 忠大